

CITIZEN

2021年度（2022年3月期）
第2四半期決算説明会

シチズン時計株式会社
2021年11月11日

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。なお、億円未満は切り捨てになっています。

コロナ前(2019年度)との業績比較

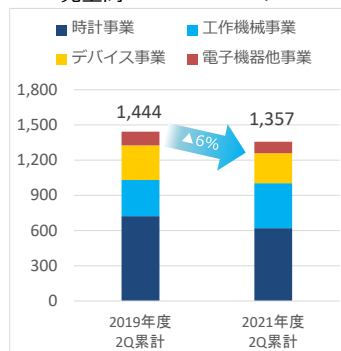
CITIZEN

2019年度2Q累計業績比較

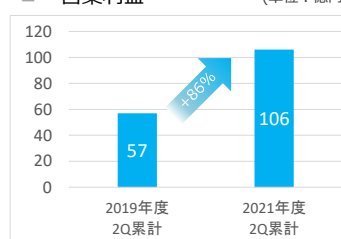
	2019年度 2Q累計	2021年度 2Q累計	2019年度比 増減
売上高	1,444 億円	1,357 億円	▲ 6.0%
営業利益	57 億円	106 億円	+86.6%
営業利益率	4.0%	7.9%	

- 売上高はコロナ前を下回るものの営業利益は大幅に伸長
- これまで取り組んできた構造改革等の効果により収益性が改善
- 依然として新型コロナウイルス感染症や半導体を中心とした部材調達の不透明感はあるものの、さらなる収益改善を進め持続的な成長を目指す

■ 売上高 (単位: 億円)



■ 営業利益 (単位: 億円)

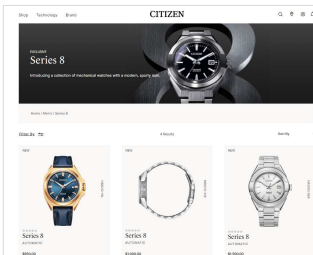


2

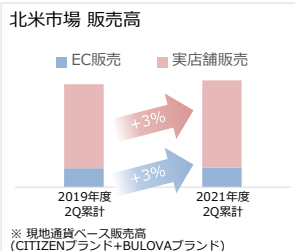
代表取締役社長の佐藤です。本日はご多用のところ、当社2021年度第2四半期決算説明会にご参加いただき、ありがとうございます。

2021年度第2四半期累計業績は、売上高は1,357億円とコロナ前の2019年度水準を下回るものの、営業利益については106億円と2019年度水準を上回っており、営業利益率も4.0%から7.9%に改善するなど、事業体質の強化が図られてきております。現在、依然として新型コロナウイルスの再拡大や、半導体を中心とした世界的な部品不足への懸念がくすぶり続けているものの、さらなる回復に向けて着実に歩みを進めています。

北米市場



北米直販ECサイト(Citizen Watch America公式サイト)



- 北米市場はEC販売、実店舗販売ともに回復基調
- EC販売のうち特に直販サイトの強化が業績回復に寄与
- 今期の販売はコロナ前(2019年度)を上回る水準で推移

国内市場



Caliber 0200搭載「The CITIZEN」メカニカルモデル



機械式時計ブランド「CITIZEN Series 8」

- Caliber 0200搭載「The CITIZEN」メカニカルモデル、機械式時計ブランド「CITIZEN Series 8」を8月に発売
- これまでのシチズンブランドの中心価格帯を上回る製品を投入し、新たな需要を喚起
- 今後、中長期的に機械式時計をさらに強化

時計事業では、特に主要市場の1つである北米市場において、直販ECサイト強化に向けた取り組みが成果を上げており、売上高、営業利益ともに大幅な回復を見せています。今後もこれらの取り組みを継続的に実施することで、これまで築いてきた実店舗流通との強固な基盤に加えEC市場においてもさらにプレゼンスを高めていきたいと考えています。

また、国内市場においては度重なる緊急事態宣言の延長と拡大により、消費活動が大きく制限され苦戦を強いられましたが、8月に発売した、Caliber 0200を搭載した「The CITIZEN」メカニカルモデルや、機械式時計ブランド「CITIZEN Series 8」など、これまでのシチズンブランドの中心価格帯を上回る製品を投入し、新たな需要の喚起を図りました。

人々のライフスタイルはこのコロナ禍を経てさらに変化しています。腕時計への需要もアナログクォーツ時計、スマートウォッチ、そして機械式時計と、さまざまに広がりを見せており、我々は社会の変化に対応した価値を提供できる存在でありたいと考えています。

タイ工場の生産能力を増強

- 足元では過去最高水準の受注を獲得しており、さらなる事業拡大に向けた強固な事業基盤を確立するため、タイ工場の生産能力を拡大することを決定
- タイ工場の生産能力を従来比5割増の月産350台体制に増強
- ショールーム棟も新設することで製造・販売ともに体制を強化



工作機械事業タイ工場全景（右手前がショールーム棟、左奥が増床部分）



新設予定のショールーム棟

- 工場増床概要
増床面積：4,275㎡ 延床面積：4,475㎡（増床後の総延床面積：27,488㎡） 着工：2021年12月 竣工：2022年11月
- ショールーム棟
建物面積：1,000㎡ 延床面積：1,848㎡ 着工：2021年5月 竣工：2021年12月

4

そして、工作機械事業は、上期は想定を上回る増収増益の結果となり、下期も引き続き堅調な受注が継続することが見込まれています。今期は中国工場の移転、拡張を進め、8月から稼働開始していますが、さらにタイ工場を増床することにいたしました。これにより、タイ工場の生産能力を従来比5割増の月産350台体制に増強できる見込みです。

省人化、自動化の流れの加速により、先進国だけでなく、中国、アジア地域においても高性能な工作機械への需要は高まっており、急速に高まる需要に対し、安定的な供給体制の構築を図ることで、売上拡大へ繋げていきます。

現在、シチズングループ全体の業績水準はまだ回復途上にありますが、引き続き手綱を緩めずに収益改善を進め持続的な成長を目指してまいります。

今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

2021年度第2四半期業績概要

広報IR担当の古川です。
2021年度第2四半期業績概要につきまして、私からご説明いたします。

2021年度第2四半期（累計）実績

- 主力の時計事業、工作機械事業が好調に推移
- 市況の回復及び収益改善策が寄与し、営業利益も大幅改善

2021年度通期業績予想

- 上期実績を踏まえ、通期予想を上方修正
- 売上高 2,730億円（前回予想比 +50億円）
営業利益 172億円（前回予想比 +34億円）

まず、今回の決算の主なポイントです。

第2四半期累計決算につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中、北米など海外市場を中心に消費が回復に向かい、主力事業の時計事業と工作機械事業が好調を維持し、増収となりました。

営業利益については、市況の回復に加え、これまで実施してきた収益改善策も寄与し、第1四半期に続き大幅な増益となりました。

第2四半期累計の業績が上振れたことから、通期業績予想を上方修正しております。

売上高は、前回予想比50億円増の2,730億円、

営業利益は、前回予想比34億円増の172億円といたしました。

2021年度第2四半期(累計)連結業績概要

CITIZEN

(単位：億円)	2020年度 2Q累計実績	2021年度 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	889	1,357	+467	+52.5%
営業利益	▲ 82	106	+189	-
営業利益率	▲9.3%	7.9%	-	-
経常利益	▲ 61	120	+182	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 215	98	+313	-
為替レートの	¥107/USD ¥121/EUR	¥110/USD ¥131/EUR	-	-

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

2020年度第2四半期に繰延税金資産の取り崩しを行ったことから、313億円の増益

7

2021年度第2四半期累計の連結業績についてご説明いたします。

売上高は、1,357億円、前年比467億円増、52.5%の増収となりました。

営業利益は、106億円、前年比189億円増、
営業利益率は7.9%です。

経常利益は、120億円、前年比182億円増となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は98億円となり、前年同期に繰延税金資産の取り崩しを行ったことから、前期比では313億円の増益となりました。

2021年度第2四半期(累計)セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2020年度 2Q累計実績	2021年度 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
■ 時計事業	381	620	+239	+62.8%
■ 工作機械事業	207	383	+175	+84.7%
■ デバイス事業	213	255	+42	+19.7%
■ 電子機器他事業	88	98	+10	+11.4%
合 計	889	1,357	+467	+52.5%
営業利益				
■ 時計事業	▲ 53 (▲14.1%)	48 (7.8%)	+102	-
■ 工作機械事業	5 (2.9%)	58 (15.4%)	+52	+894.5%
■ デバイス事業	▲ 10 (▲5.1%)	15 (6.0%)	+26	-
■ 電子機器他事業	▲ 1 (▲2.1%)	7 (7.6%)	+9	-
消去又は全社	▲ 21	▲ 23	▲ 1	-
合 計	▲ 82 (▲9.3%)	106 (7.9%)	+189	-

8

セグメント別の第2四半期累計業績です。

時計事業は62.8%の増収、営業利益は102億円の増益、
 工作機械事業は84.7%の増収、52億円の増益、
 デバイス事業は19.7%の増収、26億円の増益となり、
 電子機器他事業も含め、全事業で増益となり、黒字化を達成しております。

2021年度第2四半期連結業績概要

CITIZEN

(単位：億円)	2020年度 2Q実績	2021年度 2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	521	699	+178	+34.2%
営業利益	▲26	64	+90	-
営業利益率	▲5.0%	9.2%	-	-
経常利益	▲12	70	+82	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲147	54	+202	-
為替レートの	¥106/USD ¥123/EUR	¥110/USD ¥130/EUR	-	-

9

こちらは、第2四半期のみでの連結業績です。

売上高は、699億円、前年比34.2%増、

営業利益は、64億円、前年比90億円の増益、

経常利益は、70億円、前年比82億円増となりました。

2021年度第2四半期セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2020年度 2Q実績	2021年度 2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
■ 時計事業	260	330	+69	+26.7%
■ 工作機械事業	106	196	+89	+84.3%
■ デバイス事業	108	124	+15	+14.0%
■ 電子機器他事業	45	49	+3	+8.0%
合計	521	699	+178	+34.2%
営業利益				
■ 時計事業	▲15 (▲6.0%)	33 (10.1%)	+49	-
■ 工作機械事業	2 (2.1%)	32 (16.3%)	+29	+1,364.0%
■ デバイス事業	▲3 (▲3.0%)	5 (4.8%)	+9	-
■ 電子機器他事業	1 (2.7%)	3 (7.8%)	+2	+213.9%
消去又は全社	▲10	▲10	▲0	-
合計	▲26 (▲5.0%)	64 (9.2%)	+90	-

10

セグメント別の第2四半期の業績はご覧の通りです。

累計実績と同様、全事業で増収増益となっております。

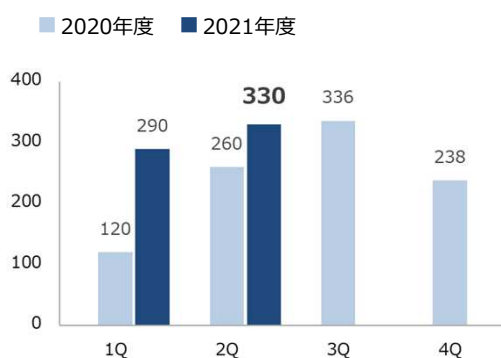
完成品販売

- 海外市場：北米の好調が業績牽引したほか欧州も底堅さを保つ。中国は一服感
- 国内市場：緊急事態宣言の延長を受け消費活動が低迷し、小幅回復

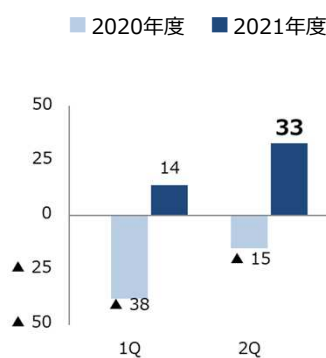
ムーブメント販売

- 機械式ムーブメントが堅調継続。アナログクォーツも多針系が伸長

売上高(億円)



営業利益(億円)



11

それでは事業別の業績概況についてご説明いたします。
まず、時計事業です。

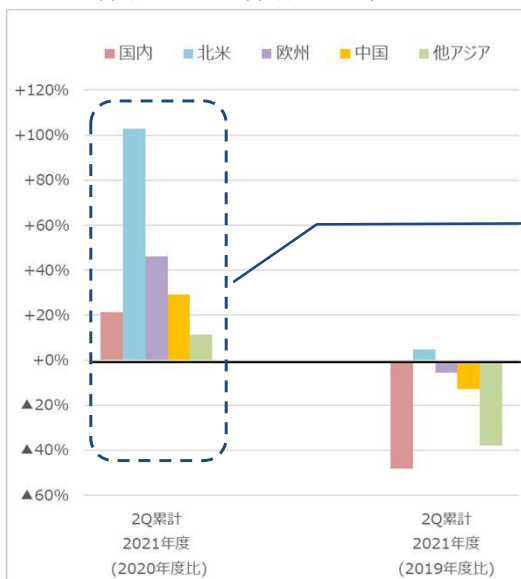
第2四半期累計の売上高は620億円と、前年比63%増となりました。
完成品販売は、北米において好調な個人消費が継続した他、物流などサプライチェーンの混乱の懸念もあり、例年よりクリスマス商戦の仕入れが早まっていることもあり、大幅な増収となりました。
欧州も、経済活動の再開に伴い、売り上げが堅調に推移いたしました。
中国は第1四半期は大幅な増収となりましたが、第2四半期に入り景況感が悪化し、売り上げが伸び悩みました。

国内は、高価格の機械式新商品を投入するなど需要喚起に努めましたが、緊急事態宣言の延長を受け、計画には届きませんでした。

ムーブメント販売につきましては、引き続き機械式ムーブメントの売り上げが堅調に推移した他、アナログクォーツも多針系ムーブメントなど高付加価値の製品が販売を伸ばしました。

営業利益につきましては、完成品販売が北米を中心に大幅に伸長したこと、またムーブメント販売の回復に伴う製造の稼働向上などにより、営業利益は48億円と、前年比102億円の増益となりました。

■ 前年同期及び前々年同期比増減率



前年同期(2020年度2Q累計)比増減率

経済活動の再開状況によって地域差はあるものの、回復傾向で推移

- 北米：EC販売及び実店舗の回復を受け堅調維持
- 欧州：経済活動の再開に伴い主要地域が回復
- 中国：景況感悪化の影響を受け伸び率低下
- 国内：引き続き緩やかな回復傾向を維持

※ 北米のみCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減。その他の地域はCITIZENブランドのみの増減。
 ※ 他アジアは中国を除いたアジア地域
 ※ 現地通貨ベースの増減率

こちらは、地域別の売上高増減率のグラフになります。

左側の棒グラフが前年対比です。

赤は国内になりますが、感染拡大の影響が継続し、回復は緩やかなものに留まりました。

水色の北米は、第2四半期以降もEC販売に加え、デパート、ジュエリーチェーンなど実店舗販売の回復が続いており、100%を上回る伸び率となりました。

薄紫のグラフは欧州です。経済活動の再開が進む中、ドイツなどの主要地域が回復に向かいました。

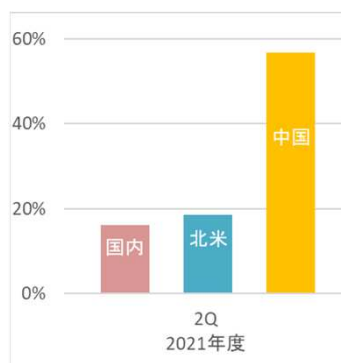
黄色の中国も伸び率は低下したものの、増収となりました。

右側の棒グラフは、2019年度対比になります。北米は増収、欧州もコロナ感染拡大前の水準に近づきつつありますが、国内と中国以外のアジア地域の回復は遅れている状況です。

■ EC販売 前年同期比増減率



■ EC比率



■ EC販売 前年同期比増減率

	2Q	
● 国内	▲9%	限定品は堅調に推移したものの、緊急事態宣言の延長により消費マインドが悪化
● 北米	+29%	EC販売強化に向けた取り組みが寄与し、直販ECは限定製品を中心に好調継続。既存ECも伸張
● 中国	▲25%	新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う消費マインドの低下やEC商戦縮小の影響を受け、減収

※ 国内、中国はCITIZENブランドのみの増減。北米はCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減
 ※ 増減率、EC比率はいずれも現地通貨ベース

続いて、主要3地域のEC販売状況です。

第2四半期の国内は、実店舗販売も含め消費が弱く、やや減収となりました。
 北米は、直販ECサイトの改良や限定製品の効果的な投入が寄与し、29%増となりました。
 中国は、消費マインドの低下等により、減収となっております。

2021年11月発売の新製品情報



EVERY MOMENT IS A MIRACLE
shop Disney 1周年記念 CITIZEN Disney Collection



shop Disney 1周年記念「CITIZEN Disney Collection」
Disney / PIXAR / MARVEL / Star Wars の
コラボレーション限定9モデル



■ 「シチズン クロスシー」25周年記念限定モデル



■ BULOVA「ルナ パイロット クロノグラフ」

14

続きまして、時計事業のトピックとして、第3四半期の新製品をご紹介します。

11月5日に、ディズニー、ピクサー、マーベル、スター・ウォーズのコラボレーションモデル、9モデルを数量限定で発売開始しました。ウォルト・ディズニー・カンパニーとグローバルアライアンスを結ぶシチズンならではの取り組みとして、従来からのシチズンブランドファンだけでなく新たな顧客層の獲得を目指していきます。

xCからは、誕生25周年記念の限定モデルが本日、発売となりました。登場以来多くの女性から高い支持を頂いている、シチズン独自の表面硬化技術デュラテクト「サクラピンク」を全てのモデルに採用しています。

また、BULOVAブランドからは、アポロ15号の月面着陸、50周年記念モデルの発売を明日、予定しています。アポロ15号の船長が月面着陸した際に、個人的に寄贈されて着けていた、ブローバ時計の復刻モデルです。

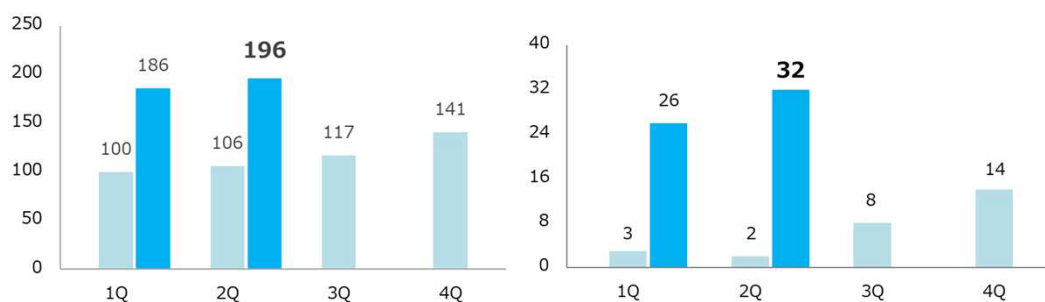
- 国内市場：半導体・建機・住宅設備関連など幅広い業種で受注が回復し、増収
- 海外市場：中国が好調継続。欧州も旺盛な設備投資需要が受注を牽引し、増収

売上高(億円)

営業利益(億円)

■ 2020年度 ■ 2021年度

■ 2020年度 ■ 2021年度



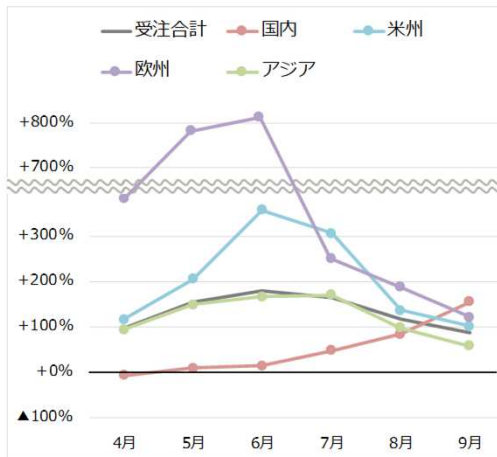
15

続いて、工作機械事業の業績概況をご説明いたします。

第2四半期累計の売上高は383億円、前年比85%増の増収となりました。営業利益は58億円、前年比52億円の増益となりました。

高水準の受注が継続する海外に加え、第1四半期まで回復が遅れていた国内が第2四半期に入り増収に転じ、全地域で大幅な増収となりました。

■ 前年同月比増減率(3カ月移動平均受注台数)



■ 前年同期比増減率(四半期受注台数)

	2Q	
● 受注合計	+87%	1Qの受注水準から一服したものの、依然として高水準を維持
● 国内	+155%	回復に遅れが見られていたが、自動車、半導体、建機など様々な業種が上向き
● 米州	+102%	医療関連を中心に積極的な設備投資が継続
● 欧州	+122%	自動車をはじめとした幅広い業種で旺盛な需要が継続
● アジア	+57%	IT、スマートフォン関連など全体的に好調な受注を獲得

地域別の受注状況について、ご説明いたします。
折れ線グラフは、受注台数の3カ月移動平均、前年同月比増減率です。

右の表は、第2四半期の前年同期比受注台数の伸び率になります。
国内は、半導体関連や建機などに加え、第2四半期に入り自動車関連向けの受注が伸び、受注台数は155%増となりました。
米州も、医療関連を中心に積極的な設備投資が継続しており、受注台数は102%増となりました。
欧州は、引き続き自動車をはじめとした幅広い業種からの旺盛な受注があり、前期比122%増となりました。
中国・アジアにつきましては、自動車メーカー減産の影響を受け伸び率は低下しましたが、全体的には好調を維持し、受注台数は57%増となりました。

今期出荷予定の受注は既に終了しておりますので、下期の業績は今後の生産のアウトプット次第となります。

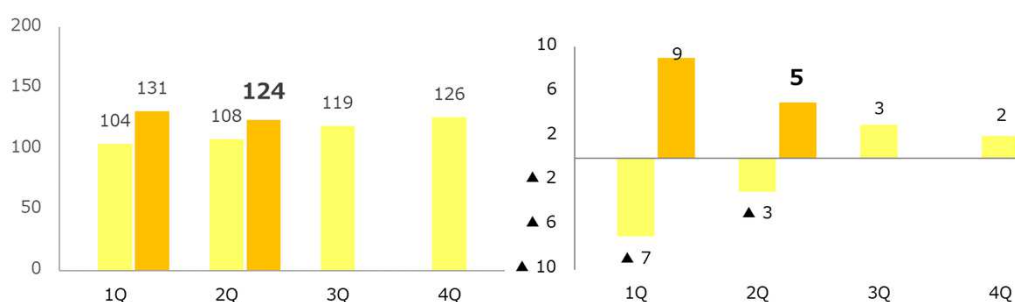
- 精密加工部品：自動車部品は自動車メーカーの減産等が懸念されるも、増収確保
スイッチはスマートフォン向けが低調に推移し、減収
- オプトデバイス：照明用LEDは欧米・中国市場が回復

売上高(億円)

営業利益(億円)

■ 2020年度 ■ 2021年度

■ 2020年度 ■ 2021年度



17

デバイス事業につきましては、

第2四半期累計の売上高は、255億円、前年比20%増となりました。営業利益は15億円、前年比26億円の増益となりました。

精密加工部品のうち自動車部品は、自動車メーカーの減産の影響が懸念されましたが、業績への影響は限定的であったことから増収を確保しました。スイッチについては需要が低迷し、減収となりました。

オプトデバイスのうち照明用LEDは、欧米や中国市場向けが回復したほか、一般LEDも車載向けなどが売り上げを伸ばし、増収となりました。

その他の部品では、水晶デバイスが通信関連向けの需要増が継続し増収となった他、小型モーターも引き続き好調に推移しました。

2021年度下期及び通期連結業績予想

2021年度 下期及び通期連結業績予想

CITIZEN

(単位：億円)	2021年度8/13予想		2021年度11/11予想		前回予想比増減	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,380	2,680	1,373	2,730	▲7	+50
営業利益	65	138	65	172	+0	+34
営業利益率	4.7%	5.1%	4.7%	6.3%	-	-
経常利益	70	150	70	190	+0	+40
親会社株主に帰属する当期純利益	50	115	46	145	▲4	+30
為替レート	¥105/USD ¥125/EUR	¥105/USD ¥125/EUR	¥110/USD ¥125/EUR	¥110/USD ¥128/EUR	-	-

- 時計事業：国内の回復遅れ、中国・他アジア市場の減速を見込み、下期予想を据え置き
- 工作機械事業：部品調達懸念の高まりから生産の鈍化を見込み、下期予想を据え置き
- デバイス事業：半導体不足の影響から自動車部品等の停滞を見込み、下期予想を下方修正

19

最後に、修正しました業績予想について、ご説明いたします。

通期予想につきましては、冒頭お話しした通りですが、売上高は、前回予想比50億円増の2,730億円、営業利益は34億円増の172億円と上方修正しています。

経常利益は190億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、145億円の見通しです。

下期予想につきましては、為替レートを、米ドル、105円から110円へ変更、ユーロは125円を据え置いています。

2021年度 下期及び通期セグメント別業績予想

CITIZEN

		(単位：億円 / %：営業利益率)		2021年度8/13予想		2021年度11/11予想		前回予想比増減	
		下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	■ 時計事業	670	1,250	670	1,290	+0	+40		
	■ 工作機械事業	360	730	360	744	+0	+14		
	■ デバイス事業	260	515	251	507	▲ 9	▲ 8		
	■ 電子機器他事業	90	185	90	189	+0	+4		
	合計	1,380	2,680	1,373	2,730	▲ 7	+50		
営業利益	■ 時計事業	28 (4.2%)	55 (4.4%)	28 (4.2%)	76 (5.9%)	+0	+21		
	■ 工作機械事業	50 (13.9%)	103 (14.1%)	50 (13.9%)	109 (14.7%)	+0	+6		
	■ デバイス事業	10 (3.8%)	24 (4.7%)	8 (3.2%)	23 (4.6%)	▲ 2	▲ 1		
	■ 電子機器他事業	3 (3.3%)	8 (4.3%)	3 (3.9%)	11 (5.8%)	+0	+3		
	消去又は全社	▲ 26	▲ 52	▲ 24	▲ 47	+2	+5		
	合計	65 (4.7%)	138 (5.1%)	65 (4.7%)	172 (6.3%)	+0	+34		

20

セグメント別の内訳はご覧の通りです。

時計事業につきましては、為替レートの変更による増収効果があるものの、国内の消費回復のスピードが当初の見込みよりも遅れていること、また中国市場の減速を織り込み、予想を据え置いています。

工作機械事業も同様に、受注は好調を維持する見込みですが、部材調達の懸念があり、生産水準を引き上げることが難しいことから、こちらも据え置きとしました。

デバイス事業のみ、自動車部品などの下振れを織り込んで、若干の修正をしています。

以上で、私からの説明を終わります。

ありがとうございました。

CITIZEN

2021年度第2四半期(累計)セグメント別業績推移(2019年度比)

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2019年度 2Q累計実績	2021年度 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
■ 時計事業	723	620	▲ 103	▲14.2%
■ 工作機械事業	308	383	+74	+24.1%
■ デバイス事業	293	255	▲ 38	▲13.0%
■ 電子機器他事業	118	98	▲ 20	▲17.0%
合計	1,444	1,357	▲ 86	▲6.0%
営業利益				
■ 時計事業	34 (4.8%)	48 (7.8%)	+ 13	+40.4%
■ 工作機械事業	45 (14.8%)	58 (15.4%)	+ 13	+28.9%
■ デバイス事業	7 (2.6%)	15 (6.0%)	+ 7	+103.1%
■ 電子機器他事業	0 (0.6%)	7 (7.6%)	+ 6	-
消去又は全社	▲ 31	▲ 23	+ 7	-
合計	57 (4.0%)	106 (7.9%)	+ 49	+86.6%

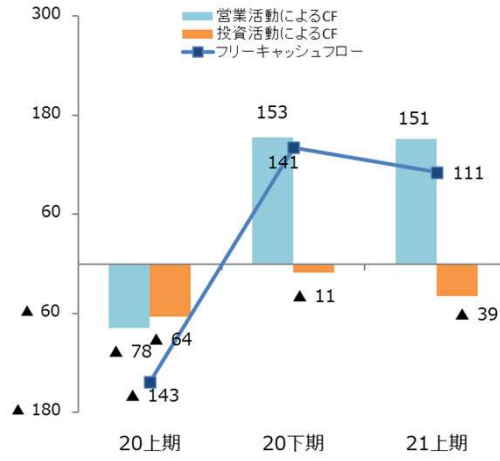
貸借対照表

CITIZEN

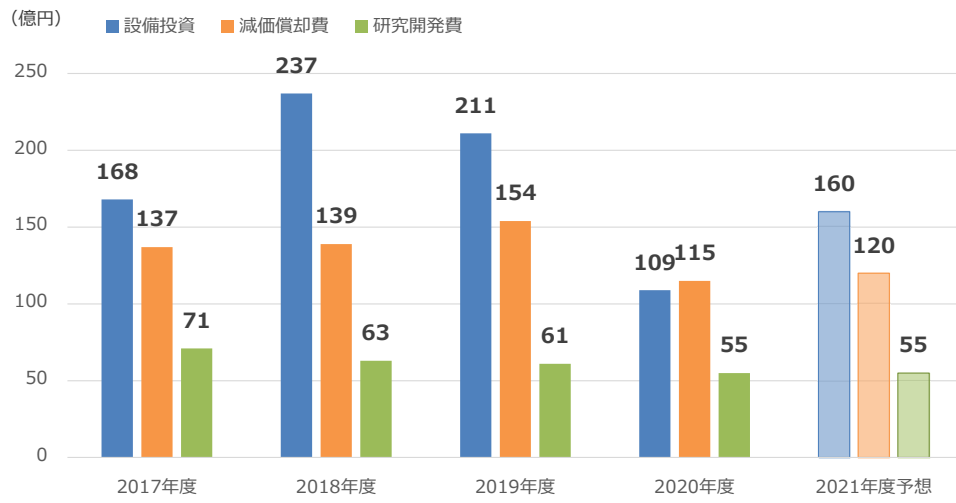
(単位：億円)	2021年 3月末	2021年 9月末	前年度 末比 増減額	(単位：億円)	2021年 3月末	2021年 9月末	前年度 末比 増減額
流動資産	2,444	2,655	+211	負債	1,529	1,623	+94
現金及び 預金	1,018	1,130	+112	有利子 負債	748	742	▲ 5
棚卸資産	902	916	+14				
固定資産	1,213	1,189	▲ 24	純資産	2,128	2,221	+92
有形固定 資産	759	735	▲ 24	株主資本	1,937	2,017	+80
投資有価 証券	333	340	+7	為替換算 調整勘定	48	50	+1
資産合計	3,658	3,845	+186	負債・純資産 合計	3,658	3,845	+186

キャッシュフロー計算書

(単位：億円)	20下期	21上期	前年 同期比 増減額
営業活動によるCF	153	151	▲ 2
投資活動によるCF	▲ 11	▲ 39	▲ 28
フリーキャッシュフロー	141	111	▲ 30
財務活動によるCF	▲ 150	▲ 15	+135
現金及び現金 同等物残高	995	1,103	+108



設備投資・減価償却費・研究開発費



- 時計事業：優先度と重要度の高い案件に絞り込み
- 工作機械事業・デバイス事業・電子機器他事業：通常並みの投資を実施